



**ハエが発生する季節です。
早めの対策を進めましょう！**

幼虫対策

IGR剤（昆虫発育抑制剤）

【方法】希釈したIGR剤を、糞堆積場や畜舎床の糞などに**1ヶ月ごとに散布**。

※ 薬剤の濃度を守り、十分な量を均一に散布しましょう。

成虫対策

ハエが増えてきたら**IGR剤の散布を2週間隔**で行い、同時に**毒餌法**を実施。

【方法】① 有機リン系、カーバメイト系の薬剤を水で希釈

② 0.5%程度の糖蜜や砂糖水（さらに粉ミルク、酒を加えても良い）を混ぜ、洗面器等に入れて農場内の適切な場所に置く

環境対策

畜房の隅、汚水だまり、残餌などの**発生源を清掃**しハエの繁殖を防止。

堆肥処理

発酵熱＋乾燥でウジを退治。**温度40℃以上かつ水分50%以下**でふ化率が激減します。

卵をふ化させないよう、**1週間以内の間隔で切り返し**を行います。

昼間にブルーシートで堆肥を覆い、日光の熱を蓄えて堆肥の温度を上げましょう。

岐阜県中央家畜保健衛生所

〒501-1112 岐阜市柳戸1-1

TEL：058-201-0530

FAX：058-201-0531

Email：c24502@pref.gifu.lg.jp

